学校番号	2001

令和８年度　理科

教科	理科	科目	地学基礎	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	地学基礎（啓林館）						
副教材等	リードα地学基礎（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では，宇宙の誕生から宇宙の構造や星の特徴を学び，その中の１つの惑星地球として，地球の「特徴や火山」「大気や海洋」「岩石や地球史」「環境破壊や災害」など学んでいきます。
・授業用ノートを準備してください。
・要点をまとめた授業プリントに「知識」の要点を記入します。授業では何度か確認するので，復習を授業ノートや問題集を活用して進めましょう。
・「思考」や「主体的」に関する内容は，実習教材や各種動画などを分析や考察し，授業ノートの記入欄や課題レポートや教材の提出を行います。授業で得た「知識」も活用して意欲的に実習・レポート等に取り組み，横断的な知識や思考を身に着けていきましょう。
・年度末は問題演習を増やすため，受験対策にも活用しましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
地学の基本的な概念や原理・法則を理解する。宇宙の姿や星及び，惑星地球の特徴など理解する。また，地球の構造や地表面の地学上の特徴や環境，地球史を理解する。
【思考力、判断力、表現力等】
目的意識をもって観察，実験などを行い，地学的に探究する能力や科学的な見方や考え方を養う。さらに，応用的な概念や原理・法則を身につけ，地学の現象を数式で表現する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等
日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境への関心を高め，主体的に，実験や実習，地学的な分析や考察ができる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	地学的な事物・現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身に付けている。 地学的な事物・現象に関する観察，実験の技能を習得するとともに，それらを科学的に探究する方法を身に付け，観察，実験の過程や結果およびそこから導き出した自らの考えを的確に表現する。	地学的な実習，実験，課題などに対して、分析や考察する力が身に付けている。 地学的な事物・現象の中に問題を見出し，観察，実験などを行うとともに，事象を実証的，論理的に考えたり，分析的・総合的に考察したりして，問題を解決し，事実にもとづいて科学的に判断したことを言語活動など通じて表現する。	地学的な事物・現象に関心や探究心をもち，意欲的にそれらを探究するとともに，科学的態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	移り変わる地球	地球の誕生 地球の生命と進化 地球史の読み方	a:地球と宇宙について理解し,知識を身に付けている。 b:地球と宇宙の仕組みや未知の領域を考察し，考えを表現することができる。 c:地球と宇宙の学習内容に主体的に取り組み。課題や実習に主体的に取り組みことができる。	定期考査 問題演習 小テスト	定期考査 課題成果 実験実習 レポート	提出物 課題取組 実験実習 レポート 発問評価
2学期	固体地球とその活動・大気と海洋	地球 活動する地球 大気の構造 太陽放射と大気 海水の運動 日本の天気	a:地球内部や大気・海洋や天気を理解し，知識を身に付けている。 b: 地球内部や大気･海洋や天気を多角的に理解し，考察や分析・比較を行うことができる。 c: 地球内部や大気･海洋や天気の学習内容に主体的に取り組める。	定期考査 問題演習 小テスト	定期考査 課題成果 実験実習 レポート	提出物 課題取組 実験実習 レポート 発問評価
3学期	自然との共生	地球環境と環境問題 災害と防災 SDGs 探求の進め方 全分野の復習や演習	a:各種の地球環境問題や災害と防災を理解し，知識を身に付けている。関連のデータを読み取ることができる。 b: 各種の地球環境問題や災害と防災について，関連データを比較・分析し，考察することができる。 c: 各種の地球環境問題や災害と防災の学習や課題考察，実習に主体的に取り組める。	定期考査 問題演習 小テスト	定期考査 課題成果 実験実習 レポート	提出物 課題取組 実験実習 レポート 発問評価

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度